

S_o Clean^{*} volume 28

Kanagawa Coastal Environmental Foundation



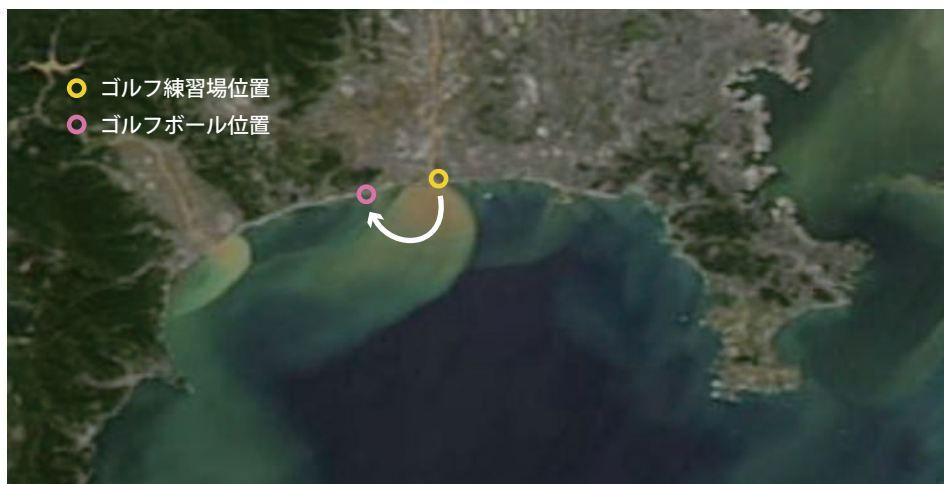
公益財団法人かながわ海岸美化財団

台風の翌日の海岸には・・・

2019年10月13日。台風の翌日、大磯町北浜はごみで埋まりました。海岸を覆うペットボトルや空き缶などの人工ごみ混じりの木くずの中で、ひと際目立ったのが、点々と転がる小さな白い物体。何かと思って近づいてみると、これらは全て一つのゴルフ練習場の名前が入ったゴルフボールでした。その数、約300個。約1kmの海岸にどうしてこんなに大量のゴルフボールが転がっているのでしょうか。これらは一体どこから来たのでしょうか？



ごみの行方と土砂の流れが重なる



We acknowledge the use of imagery from the NASA Worldview application, part of the NASA Earth Observing System Data and Information System (EOSDIS).



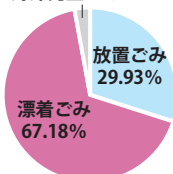
左は、台風19号通過直後の10月13日にNASAの衛星がとらえた写真です。相模湾に大量の土砂が流出しているのが見て取れます。真ん中のひと際大きく色が変わっている部分が相模川から流出した土砂です。その下の写真(左)は、その相模川河口にあるゴルフ練習場の同日の様子です。台風の影響で全面的に水没してしまいました。その際、ここから流出したのが前述のゴルフボール。これが相模川の西側へと流れていきました。

このゴルフボールの行方と川からの土砂の流れが一致します。実際、今回の台風では、相模川の西側の海岸は、下の写真(右)のようにごみで埋まりました。このことから、この台風後の海岸ごみの多くは、川から流れてきたと推測できます。

川から7割

実際、財団が過去に行った調査でも同じ結果が出ています。海岸のごみというと、一般的に海に遊びに来た人が残していったものと思われがちですが、実はそうしたごみは全体の約3割に過ぎません。残りの約7割は川から来たことが分かりました。

海洋発生ごみ 2.89%



種別	定義
放置ごみ	海岸で捨てられたごみ（例：海水浴客が残したごみ）
漂着ごみ	海岸以外の陸域で捨てられ、川を通して海まで流出し、海岸に漂着したごみ（例：ボイ捨てごみ）
海洋発生ごみ	海域で発生したごみ（例：漁具、海藻）

海岸ごみ実態調査（1992～1994年度実施）

どうして「川から」のごみと分かるのか？－見た目



では、海岸に落ちているごみを見て、どうしてそれがその場で捨てられたものか、それとも川から流れてきたものかが分かるのでしょうか。財団では二つの観点で判別しています。

一つ目は「見た目」。写真は、川から流れてきた漂着ごみです。漂着ごみは、海岸までたどり着く過程で傷ついたり、汚れたり、劣化したりします。

一方、海岸に直接捨てられた放置ごみは、新品同様きれいで、その差は一目瞭然。明らかな違いがあります。

どうして「川から」のごみと分かるのか？－位置

二つ目はそのごみが落ちていた「位置」です。川から流れてきたごみは、写真左のように波打ち際に帯状に漂着します。一方、海岸にきた人がその場で捨てていく「放置ごみ」は波打ち際ではなく、写真右のように海岸奥側に単独で落ちていることが多く、位置に大きな違いがあります。見た目と位置、この二つの観点でごみを見ていけば、そのごみがどこから来たのか判別することができます。



「線」ではなく「面」



左地図の赤い部分は、江の島のたもとに注ぐ境川の流域です。流域とは雨や雪が流れ込む範囲のことで、赤いエリアで降った雨は境川に流れ込みます。この境川から流れ出たごみは、流れ等の関係で河口左側の約1kmの海岸に漂着します。その年間量、約100トン。この100トンものごみに対し、1kmの海岸「線」だけで取り組んでも解決しません。何故ならそれは雨水ともに広大な流域から来ているからです。海岸のごみ問題は、海岸「線」だけでなく、流域という「面」でも取り組んでいく必要があります。

まとめ 海のごみ問題は陸のごみ問題



街中を歩いてみると、意外にごみがあることに気づきます。自動販売機の周りに置かれたごみ、植栽に捨てられたごみ、集積場所からこぼれたごみ。これらの一部が風や雨などによって、川へ落ち、それが海までやってきます。

今日も、陸域のどこかで、海岸ごみの元が生まれています。少しぐらいならという気持ちで捨てられたもの、うっかりして結果的にごみになってしまったもの、ごみとなるきっかけは

様々で、入口は無数です。しかし、出口は一つ。それが海岸。その結果が、ごみで埋まる海岸です。

海のごみ問題は陸のごみ問題。海岸でごみをしっかりと回収していくことと同時に、身の回りからごみを減らしていくことも大切です。ポイ捨てや不法投棄をしないことはもちろん、足元のごみを拾う、ごみの捨て方を少し気を付ける、その一つ一つの小さな積み重ねこそが海岸の未来を変えていきます。

海岸清掃事業 概要

令和元年度は、海岸へのごみの漂着が少なく、落ち着いたスタートになりましたが、5月に遅れてきた春の嵐が襲来し、一気にあわたしくなりました。6月後半から7月にかけては記録的な長雨、そしてお盆には台風10号の襲来と、あまり天候に恵まれなかった夏の海岸では、清掃してもすぐに次のごみが漂着する状況が続きました。秋に入ると、9月に15号、10月に19号と大型の台風が襲来し、過去最大級のごみをもたらしました。そのため、財団の清掃と合わせ、県による国の補助金を活用した清掃も実施されました。一部の海岸では、ごみの搬出が年度を越えることとなりました。



1年間の海岸状況

4月 真鶴町三ツ石海岸にクジラ漂着



4月11日、真鶴町三ツ石海岸の岩礁部に体長約9メートルのクジラの死体が漂着しました。現地で国立科学博物館による解剖調査後、同博物館と真鶴町の職員によって解体処理されました。

5月 バーベキュー (BBQ) シーズンの始まり



令和元年度も5月のゴールデンウィークから一気にBBQごみが増え始め、週末のたびに大量のBBQ関連のごみが海岸に捨てられていく状況が秋まで続きました。

BBQごみの多くに食材などの生ごみが混入していたため、カラスや猫等に荒らされ、ごみが周囲に散乱し、さらに回収に手間がかかるケースがほとんどでした。

5月 メイストーム襲来



春先は、低気圧が急速に発達して「春の嵐」「メイストーム」と呼ばれる台風並みの激しい気象現象が発生することがあります。令和元年度は、少し遅めの5月21日に発達した低気圧が通過した影響を受けて、藤沢市から小田原市の海岸にかけて大量

のごみが漂着し、緊急清掃を実施しました。

小型の台風並みのごみ量でしたが、この緊急清掃と翌週以降に各エリアで実施されたごみゼロクリーンキャンペーンとの相乗効果で、早々に海岸を復旧させることができました。

6～7月 記録的な長雨と止まらない南風

6月から7月にかけて梅雨前線が停滞し、東京都心では6月27日から7月29日まで33日間連続で降水が観測されるなど、記録的な長雨となりました。

海岸では連日、海からの南風が吹き続け、雨で海まで流れ出たプラスチック片などの軽いごみがこの風によって海岸にだらだらと上がり、清掃してはごみが漂着する繰り返しで、非常に苦労しました。



8月 お盆に台風10号襲来



8月15日には台風10号が西日本に上陸し、台風の東半円に入っていた神奈川県では、お盆期間真っ最中の13日～16日まで、台風の波浪や雨の影響を受けました。直撃を免れたので、通常の台風ほどごみは多くありませんでしたが、一気に戻った酷暑の中での清掃作業に消耗させられました。

9月 台風15号襲来



9月9日に襲来した台風15号は、三浦半島をかすめ千葉県に上陸するコースを通り、通過後は強い南西風が吹き込みました。そのため、普段台風が来ると大量にごみが漂着することが多い相模湾の西側の海岸より、三浦半島の西向きの海岸に大量のごみが漂着し、葉山町や鎌倉市の海岸で緊急清掃を実施しました。

10月 台風19号襲来



令和元年度、海岸に一番影響が大きかった気象が、10月12日に襲来した台風19号。近年では平成19年9月に西湘バイパスを崩落させた台風9号以来となる、甚大な被害をもたらしました。そのごみの総量は約700トン。これは財団が処理する年間ごみ量の3分の1に匹敵するだけでなく、これまでの台風一回のご

みの最高値350トンを一気に倍も更新するという、桁違いの量になりました。また、台風の波は海沿いを走る西湘バイパスのパーキングエリアを破壊だけでなく、後背地の家屋や施設にも大きな被害をもたらしました。

10月 東京湾に重油漂着

台風19号の影響で、川崎市東扇島沖で貨物船が沈没し、そこから流出した燃料用の重油が東京湾側の海岸に漂着しました。財団でも、横須賀市走水海岸、や三浦市金田海岸、菊名海岸で、大量の台風ごみに混じって重油が付いたごみを確認しました。



台風19号のごみ処理



台風19号がもたらしたごみが過去に類を見ないほど莫大だったため、財団では、平塚市から小田原市までの海岸において、残り全ての清掃費を投入し、人工ごみの除去とごみの集積、整理作業にあたり、年末までに作業を完了させました。

そのごみの搬出作業については、国の「災害関連緊急大規模漂着流木等処理対策事業」を活用して神奈川県主導で行いました。こうした国の補助を活用した清掃との連携は財団設立以来、初めての出来事となりました。

屑かごごみ調査



藤沢市域と茅ヶ崎市域の海岸に設置されていた屑かごのごみ調査を市と共同で定期的に行いましたところ、ごみの多くが産業廃棄物の不法投棄と家庭ごみの持ち込みでした。不適正利用率が非常に高かったことに加えて、「かながわプラごみゼロ宣言」を踏まえ、リサイクルされない、廃棄されるプラごみゼロを目指す観点から、上記エリアの屑かごは廃止されました。現在継続設置されているものは「ボランティア清掃ごみ回収ボックス」となっています。

財団直営部隊における海岸ごみ清掃事業

7月から12月までの114日間、4人組1班体制で財団直営部隊が海岸清掃に取り組みました。直営部隊は、ごみ量が多い場所や優先順位の高い海岸の清掃などを実施し、約169トンのごみを回収することができました。



令和2年度海岸清掃委託業者一覧

エリア	委託業者	エリア	委託業者	エリア	委託業者
横須賀・三浦	株式会社ユウアイ	鎌倉・藤沢	株式会社出羽商会	平塚・大磯	株式会社総合サービス
三浦	有限会社阪本伍一商店	藤沢	株式会社フジカッター	小田原	小泉建設株式会社
葉山	株式会社ユウアイ	藤沢	協和通商株式会社	真鶴	有限会社平田建設工業
逗子	協和通商株式会社	茅ヶ崎	有限会社小嶋クリーンサービス	海岸砂防林	株式会社出羽商会
鎌倉	株式会社共栄商社	平塚	株式会社柏木組土木	海岸砂防林	株式会社総合サービス

このほか、各地のシルバー人材センター、生きがい事業団、障害福祉施設、地元町内会などにも、海岸清掃にご協力いただいています。

美化啓発事業 概要

海岸美化を一層推進するための啓発事業を展開しました。春と秋には、県下の海岸の一斉クリーンアップを開催しました。また、学校の総合学習の時間を活用した出前授業(学校キャラバン)や企業研修の受入れも積極的に行うとともに、各所でワークショップを開催したり、講演を行ったり、河川上流域の団体と連携して環境教室を開講したりと、さまざまな機会を活用してより多くの方々に海岸美化を呼びかけました。



春と秋の県下一斉ビーチクリーンアップ実施結果

春 ビーチクリーンアップかながわ2019

春の県下一斉ビーチクリーンアップ「ビーチクリーンアップかながわ」を各市町で開催されるごみゼロクリーンキャンペーンに合わせて、ボランティア団体、企業、地域組織等、多くの方のご協力を得て、実施しました。

ビーチクリーンアップかながわ2019結果概要

実施期間	令和元年5月6日～令和元年6月8日	
開催場所	神奈川県内38会場	
参加人数	12,732名	
ごみ量	可燃	14,746 kg
	不燃	5,647 kg
	合計	20,393 kg
主催	公益財団法人かながわ海岸美化財団	
共催	横須賀市・平塚市・鎌倉市・藤沢市・小田原市 茅ヶ崎市・逗子市・三浦市・葉山町・大磯町 二宮町・真鶴町・湯河原町	
後援	神奈川県	
協力	各ボランティア団体	



秋 国際海岸クリーンアップ2019

一般社団法人JEANを中心に実施されるごみ調査を兼ねた海岸清掃に合わせて、県下一斉ビーチクリーンアップ「国際海岸クリーンアップ」をボランティア団体、企業、地域組織等、多くの方のご協力を得て、実施しました。

国際海岸クリーンアップ2019結果概要

実施期間	令和元年9月7日～令和元年10月6日	
開催場所	神奈川県内20会場	
参加人数	1,707名	
ごみ量	可燃	1,917 kg
	不燃	1,513 kg
	合計	3,430 kg
主催	公益財団法人かながわ海岸美化財団	
共催	一般社団法人JEAN	
後援	神奈川県・横須賀市・平塚市・鎌倉市・藤沢市 小田原市・茅ヶ崎市・逗子市・三浦市・葉山町 大磯町・二宮町・真鶴町・湯河原町	
協力	各ボランティア団体	



環境学習の推進

内 容	件数	参加人数
学校キャラバン	65 件	3,693 名
企業等の環境貢献活動等の受入れ	11 件	2,295 名
学生の職業体験等の受入れ	2 件	5 名
講演等の実施	8 件	720 名
ワークショップの実施	7 件	930 名

学校の総合学習の時間を活用した環境出前授業「学校キャラバン」、企業の環境貢献活動や学生の職業体験の受入れも積極的に行いました。また、SDGsの取組や『かながわプラごみ宣言』の方向性に沿って、海岸ごみの現場の実態を踏まえた立場からの講演やビーチグラスや貝殻などの海の材料を使ったワークショップを開催するなど、財団の業務や海岸美化への理解を深めてもらいました。

学校キャラバン 【実施例：伊勢原市立緑台小学校】

9月11日、伊勢原市立緑台小学校へ学校キャラバンに行ってきました。

対象が低学年だったので、まずは対話形式で海のイメージを出し合っていました。そこからきれいな海と汚い海に分けて、そこにあったうれしいモノと嫌なモノを対比して膨らませていきました。さらに、そこで出てきた「ごみ」をキーワードに、今度は家のごみについてどんなものがあるのか、どこに運ばれていくかについて話を展開し、最終的に海から離れた場所においても、自分の周囲と海とはつながっていることの気づきを得てもらい、学習を終えました。



企業等の環境貢献活動等の受入れ 【実施例：アビームコンサルティング株式会社】



9月7日、三浦市三戸浜でアビームコンサルティング株式会社の環境貢献活動を受け入れました。

財団職員から海岸ごみについてレクチャーを受けた後、チームごとに活動し、最後に、各チームの活動プレゼンテーション大会を実施しました。それぞれの工夫をこらしたプレゼンに盛り上がりながら、活動内容を共有しました。

中学生の職業体験の受入れ 【茅ヶ崎市立赤羽根中学校】

11月6日、茅ヶ崎市立赤羽根中学校2年生2名の職業体験を受け入れました。

午前中は、財団本部事務所前の海岸で清掃作業を体験。プラスチックごみを中心にごみを回収しました、午後は、そのプラスチック片を使用して、美化啓発用のプラごみカラーボトルを作成しました。



講演等の実施 【実施例：東京湾大感謝祭@横浜赤レンガ倉庫】

実施日	イベント名等	実施場所
平成31年4月7日	大哺乳類展2	国立科学博物館
令和元年10月26日	東京湾大感謝祭	横浜赤レンガ倉庫
令和元年10月31日	ハーパークラブ定期講演会	横浜情報文化センター
令和元年11月10日	桂川・相模川流域シンポジウム	茅ヶ崎市役所
令和元年11月21日	県立高校環境講演会	横須賀明光高校
令和2年1月22日	くらしの学校	湘南台市民センター
令和2年1月23日	海と魚と講演会	横須賀市西コミュニティセンター
令和2年2月20日	環境を考えるつどい	三井住友信託銀行 藤沢支店

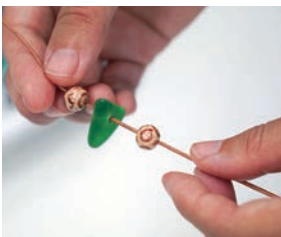


SDGsの取組や「かながわプラごみゼロ宣言」の方向性に沿って、海岸ごみの現場の実態を体感している立場から、幅広い層に講演やプレゼンによる情報発信を行いました。

10月26日に横浜赤レンガ倉庫で開催された東京湾大感謝祭で

は、相模湾のごみの現状について講演。さらにその後のトークセッションでは、タレントの哀川翔さん、日本テレビアナウンサーの榎太一さんと一緒に登壇し、海岸美化のためにできることは何かを話し合いました。

ワークショップの開催 【実施例：セーリングワールドカップシリーズ江の島大会2019】



実施日	イベント名等	実施場所
令和元年7月21日	なぎさのゴミ問題を知ろう	テラスモール湘南
令和元年8月1日	環境科学センター施設公開	神奈川県環境科学センター
令和元年8月7日	夏休み環境学校	相模原市立環境情報センター
令和元年8月22日	リビエラビーチクリーン SDGs夏休み企画	リビエラ逗子マリーナ
令和元年8月31日～9月1日	セーリングワールドカップシリーズ江の島大会2019	江の島ヨットハーバー
令和元年11月1日	VANS DUCT TAPE FESTIVAL	鶴沼海浜公園スケートパーク
令和2年2月2日	リビエラファミリーデー	リビエラ逗子マリーナ

パネル展示等と併せて、ビーチグラスなどを使用した写真立てやペンダントづくり、また、マイクロプラスチックを材料にした万華鏡づくりなどのワークショップを行いました。

8月31日と9月1日の2日間、江の島で開催されたセーリングワールドカップシリーズの大会会場で、ビーチグラスを使ったペンダントづくりのワークショップを実施しました。ビーチグラス、皮ひも、ウッドビーズと材料はシンプルながら、無数の組み合わせでオリジナルの作品が作れると参加者から好評を博しました。

海岸美化キャンペーンの実施

パネル展の開催



パネル展 開催件数：42 件

各所でパネル等を展示し、海岸美化を呼びかけました。パネルとともに、海洋プラスチック問題を分かりやすいカタチで伝えるため、海岸に落ちていたプラスチック片を色別に詰めた「プラごみカラーボトル」も展示し、訴求力の高い啓発活動を展開しました。

河川上流域団体との連携 [相模原市立環境情報センター]



8月7日、相模原市立環境情報センターで夏休み環境学校を実施しました。

陸と海とは水の流れでつながっており、雨水とともに陸域からごみが海まで流れてくることを話した後は、海に落ちているモノで写真立て作りを行い、海への親しみを深めてもらいました。

研究機関との連携 [神奈川県環境科学センター]

8月1日、神奈川県環境科学センターで施設公開に合わせ、小学生向けのワークショップを実施しました。施設内ではマイクロプラスチック採取体験が行われていたので、それに関連して海岸のプラスチックごみの現状について講義した後、オリジナルの写真立て作りのワークショップを行いました。



海岸美化ボランティアツアーとの連携 [実施例：栃木市立栃木第四小学校]



実施日	団体名	人数
令和元年 9 月 19 日	栃木市立栃木第四小学校	5 人
令和元年 10 月 3 日	栃木市立栃木中央小学校	12 人

旅行会社が企画する観光ツアーと連携したビーチクリーンアップを実施しました。

9月19日、栃木県から修学旅行で訪れた栃木市立栃木第四小の児童5名に鎌倉市坂ノ下海岸で、最初に海岸ごみについての講義の中で、海から遠く離れた場所でも川で海とつながっていることを財団職員から話しました。その後は実際に海岸のごみを拾ってみて、自分たちの学校の周りにあるごみと違いがあるか考えてもらいました。

イベント等への参加・支援 [実施例：ハワイアン航空]

イベント参加・支援件数：49 件

行政・企業・ボランティア団体などが実施するイベント等に積極的に参加、支援しました。

10月5日、茅ヶ崎市サザンビーチちがさきで実施されたハワイアン航空のビーチクリーンにおいて、各団体との調整、ビーチクリーンのレクチャー、ごみの回収等の支援を行いました。



Facebookページからの情報発信

財団公式Facebookページの運用を強化し、海岸の状況等をタイムリーに発信することにより、令和2年3月31日現在7,300人の購読者を得ています。このページを見て、新たにビーチクリーンアップに取り組むボランティアも増え、強力な広報ツールとして機能しています。

<https://www.facebook.com/bikazaidan/>



観光協会との連携

実施日	場所
令和元年 6 月 25 日	JR 横浜駅
令和元年 6 月 25 日	小田急新宿駅
令和元年 7 月 23 日	JR 大宮駅
令和元年 7 月 23 日	JR 上尾駅



公益社団法人藤沢市観光協会と連携し、主要駅4ヶ所でリーフレットを配布し海岸美化を呼びかけました。

(写真提供：公益社団法人藤沢市観光協会)

美化団体支援事業 概要

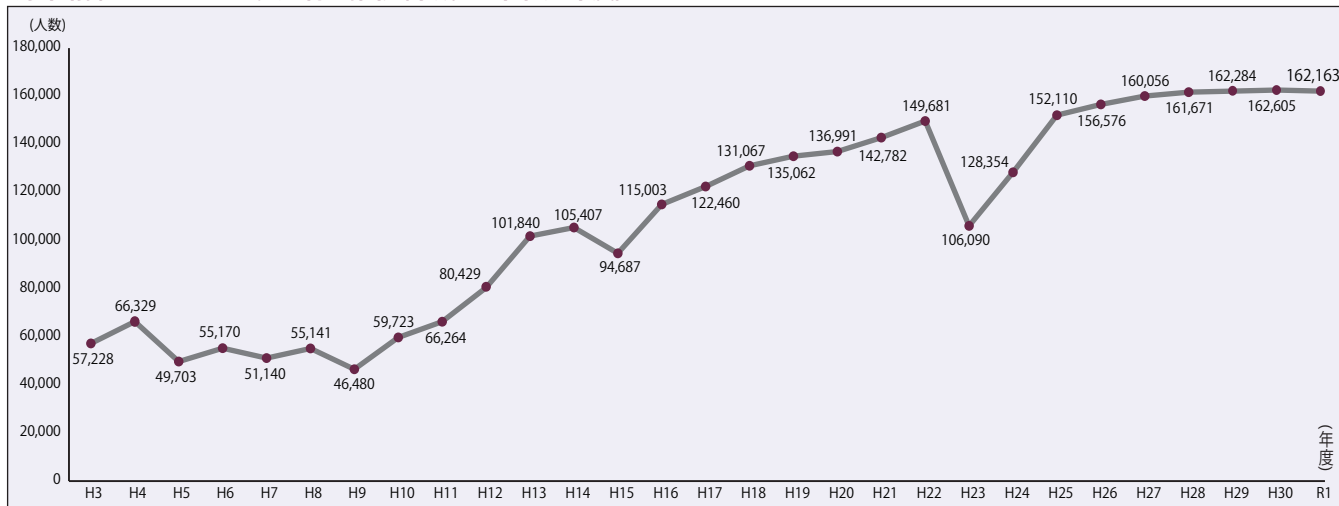
海岸清掃ボランティアに対し、ごみ袋の提供・清掃用具の貸出・ごみの回収等の支援を実施しました。ボランティア数は、2月までは前年度を上回るペースで増加してきましたが、3月に入り、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、同月のボランティア数が激減し、年間人数は、16万人は超えたものの、前年度より微減しました。また、海岸や河川等において美化活動を実施しているボランティア団体や企業・学校・関係行政機関を対象に毎年開催している、「海岸美化団体等交流会」も新型コロナウイルス感染症が拡大しつつある状況を踏まえ、中止しました。



(写真提供：株式会社リビエラリゾート)

海岸清掃ボランティア参加者数

海岸清掃ボランティア参加者の推移(平成3～令和元年度)



海岸清掃ボランティア参加者の内訳(令和元年度と平成30年度)

年度	令和元年度			平成30年度		
区分	件数	参加者数	割合(%)	件数	参加者数	割合(%)
地域団体	121	23,893	14.7	100	22,358	13.8
環境団体	190	25,513	15.7	159	21,987	13.5
学校・教育	95	9,685	6.0	103	12,135	7.5
行政	21	15,382	9.5	19	14,878	9.2
企業等	308	23,071	14.2	244	21,565	13.2
マリン	203	54,221	33.5	274	56,780	34.9
その他	418	10,398	6.4	371	12,902	7.9
合計	1,356	162,163	100.0	1,270	162,605	100.0

定期清掃と随時清掃(令和元年度と平成30年度)

年度	令和元年度		平成30年度	
区分	件数	人数	件数	人数
定期清掃	126	48,228	126	50,256
随時清掃	1,230	113,935	1,144	112,349
合計	1,356	162,163	1,270	162,605

海岸美化団体等交流会の開催中止

海岸美化団体等交流会の開催中止について

日本国内での新型コロナウイルス感染症の拡がりを受け、3月7日に予定していた令和元年度海岸美化団体等交流会の開催を中止することにいたしました。

ご参加をご予定されていた皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解くださいますようお願いいたします。



日本国内での新型コロナウイルス感染症の拡がりを受け、3月7日に予定していた海岸美化団体等交流会の開催を中止しました。国立科学博物館の田島木綿子先生の講演や横浜SUP倶楽部の活動発表も予定され、過去最高の参加者だった前年度を超える勢いでの参加申込がありましたが、参加者や関係者の健康と安全を第一に考えた判断になりました。

ボランティア団体等の表彰について

公益財団法人かながわ海岸美化財団 感謝状

長年にわたって海岸美化に取り組んでいる個人・団体・企業・学校とごみ袋等をご協賛いただいた企業等に感謝状を贈呈しました。

贈呈先

区分	個人・団体名	
ボランティア活動	郷丸辰次	
	神奈川県野生動物救護連絡会	
	横浜富士見丘学園JRC・IAC部	
	日産自動車株式会社 テクニカルセンター	
協賛	株式会社横浜銀行	日本たばこ産業株式会社 神奈川支社
	リーバイ・ストラウス ジャパン株式会社	株式会社ガイア
	株式会社クオカード	湘南藤沢市民マラソン実行委員会
	株式会社新江ノ島水族館	ミラクルズ
	有限会社がんこ本舗	リコージャパン株式会社
	京浜急行電鉄株式会社	エリーパジャパン・カスタマーマーケティング株式会社
	公益財団法人小田急財団	中日本エクスートル横浜株式会社 茅ヶ崎営業所
	テラサイクルジャパン合同会社	有限会社サニー
	プロジェクトC	株式会社湘南なぎさパーク

県の各表彰

県からの依頼を受けて、財団が推薦させていただき、多くのボランティア団体が各表彰を受賞されました。

表彰名と受賞団体

神奈川県横須賀三浦地域県政総合センター所長表彰
大崎ローカルズ
神奈川県湘南地域県政総合センター所長表彰
大磯ビーチクリーン実行委員会
特定非営利活動法人海掃

感謝状記念品 砂時計について



ボランティア活動の感謝状と併せて、各個人・団体が活動している海岸の砂で作ったオリジナルの砂時計を記念品として贈呈しています。

海岸美化募金の募集

これまでカレンダーのケースで使用していたプラスチックを廃止し、代わりに国産の間伐材の木製スタンドを使用したオリジナルカレンダー「by the sea」を作成しました。

表紙を含めて月替わりで財団が清掃している13市町の景色を楽しめる内容になっており、会員特典とするほか、海岸美化募金の寄付者にも配布し、644,000円の募金をいただきました。



コットンエコバッグの作成



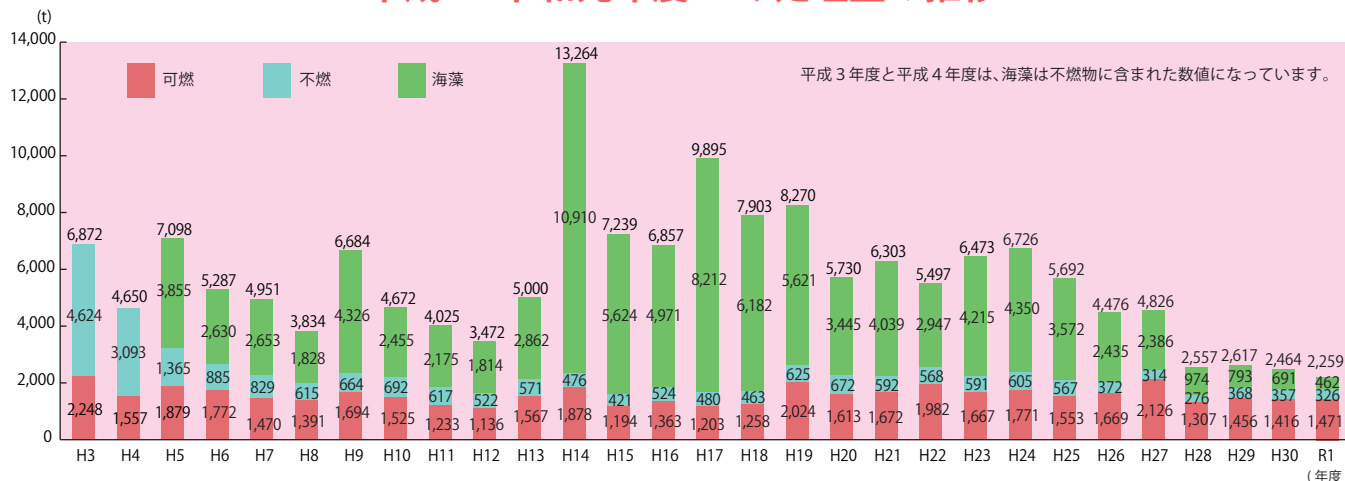
財団では、プラごみゼロを目指し、これまでイベント時に広報誌などを入れて配布していたプラスチックバックを廃止し、代わりに、株式会社カナジュウ・コーポレーション様、株式会社トーエル様、株式会社服部商店様、株式会社フジプロ様のご協賛をいただいて、オリジナルコットンエコバッグを作成しました。

令和元年度 海岸清掃ごみ等処理量集計表

(単位：kg)

区分	通常清掃			緊急清掃			合計		
横須賀市	可燃	117,470	144,013	可燃	45,640	49,570	可燃	163,110	193,583
	不燃	22,680		不燃	3,930		不燃	26,610	
	海藻	3,863		海藻	0		海藻	3,863	
三浦市	可燃	38,681	64,335	可燃	4,800	16,460	可燃	43,481	80,795
	不燃	21,454		不燃	11,660		不燃	33,114	
	海藻	4,200		海藻	0		海藻	4,200	
葉山町	可燃	47,820	51,970	可燃	27,810	28,700	可燃	75,630	80,670
	不燃	3,750		不燃	890		不燃	4,640	
	海藻	400		海藻	0		海藻	400	
逗子市	可燃	47,820	69,040	可燃	0	0	可燃	47,820	69,040
	不燃	6,020		不燃	0		不燃	6,020	
	海藻	15,200		海藻	0		海藻	15,200	
鎌倉市	可燃	61,600	415,660	可燃	30,850	41,160	可燃	92,450	456,820
	不燃	17,060		不燃	10,310		不燃	27,370	
	海藻	337,000		海藻	0		海藻	337,000	
藤沢市	可燃	476,580	650,260	可燃	32,970	34,790	可燃	509,550	685,050
	不燃	86,480		不燃	1,820		不燃	88,300	
	海藻	87,200		海藻	0		海藻	87,200	
茅ヶ崎市	可燃	66,000	156,790	可燃	26,180	32,600	可燃	92,180	189,390
	不燃	90,790		不燃	6,420		不燃	97,210	
	海藻	0		海藻	0		海藻	0	
平塚市	可燃	83,190	92,395	可燃	17,950	25,180	可燃	101,140	117,575
	不燃	9,205		不燃	7,230		不燃	16,435	
	海藻	0		海藻	0		海藻	0	
大磯町	可燃	132,464	139,334	可燃	70,605	76,605	可燃	203,069	215,939
	不燃	6,870		不燃	6,000		不燃	12,870	
	海藻	0		海藻	0		海藻	0	
二宮町	可燃	4,532	9,498	可燃	0	0	可燃	4,532	9,498
	不燃	1,935		不燃	0		不燃	1,935	
	海藻	3,031		海藻	0		海藻	3,031	
小田原市	可燃	63,376	68,450	可燃	41,670	42,410	可燃	105,046	110,860
	不燃	5,074		不燃	740		不燃	5,814	
	海藻	0		海藻	0		海藻	0	
真鶴町	可燃	18,360	27,335	可燃	13,335	19,620	可燃	31,695	46,955
	不燃	475		不燃	3,485		不燃	3,960	
	海藻	8,500		海藻	2,800		海藻	11,300	
湯河原町	可燃	0	1,438	可燃	900	1,150	可燃	900	2,588
	不燃	1,415		不燃	250		不燃	1,665	
	海藻	23		海藻	0		海藻	23	
合計	可燃	1,157,893	1,890,518	可燃	312,710	368,245	可燃	1,470,603	2,258,763
	不燃	273,208		不燃	52,735		不燃	325,943	
	海藻	459,417		海藻	2,800		海藻	462,217	

平成3～令和元年度 ごみ処理量の推移



会員の状況

会員別一覧（令和2年5月31日現在）

区分		会員数	口数
法人・団体	10 口以上（特別法人・団体会員）	41	470
	1~9 口	79	99
個人		182	451

協賛の状況

協賛一覧（令和2年5月31日現在／順不同）

区分	法人・団体名
物品協賛	日本たばこ産業株式会社 神奈川支社
	湘南藤沢市民マラソン実行委員会
	京浜急行電鉄株式会社
	ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社
	中日本エクストール横浜株式会社 茅ヶ崎営業所
	公益財団法人小田急財団
	神奈川県広域水道企業団
	株式会社ジャパンビバレッジホールディングス
寄付金・協賛金（団体）	株式会社横浜銀行
	リーバイ・ストラウス ジャパン株式会社
	株式会社ガイア
	株式会社クオカード
	株式会社新江ノ島水族館
	ミラクルズ
	リコージャパン株式会社
	有限会社がんこ本舗
	有限会社サニー
	テラサイクルジャパン合同会社
	株式会社湘南なぎさパーク
	プロジェクトC
	株式会社カナジュウ・コーポレーション
	株式会社トーエル
	株式会社服部商店
	株式会社フジプロ

SDGsへの取り組み

SDGsとは、2015年9月に国連サミットで採択された持続可能な世界を実現するための開発目標です。当財団へのご協賛やご入会は、SDGsの17の目標のうち、14（海の豊かさを守ろう）の取り組みになります。



令和元年度も、さまざまな形で多くの個人、企業・団体様とパートナーシップを結び、海岸美化を推進できました。財団では、随時、海岸美化募金や会員、企業・団体様からのご協賛・ご寄付等を募集しております。

新規会員（令和2年5月31日現在／順不同）

区分	法人・団体名
特別法人・団体	スポーツクラブNAS株式会社
	相鉄ホールディングス株式会社
	ウォータースタンド株式会社
	株式会社服部商店
	株式会社鈴廣蒲鉾本店
	ハワイアン・エアーラインズ・インク
	馬淵建設株式会社
	川本工業株式会社
	株式会社フジサワ名店ビル
	テラスモール湘南テナント会
	株式会社グリーンルーム
	上野トランステック株式会社
	生活協同組合 パルシステム神奈川ゆめコープ
	株式会社パスポート
	株式会社共栄商社
	株式会社ファンケル
法人・団体	東日本旅客鉄道株式会社 横浜支社
	吉川化成株式会社
	735style
	マスワークス合同会社
	株式会社幸運社
	株式会社汐文社
	株式会社フレッシュハウス
	株式会社鈴木組
	藤沢商工会議所
	地球を守ろう！
	神奈川県中小企業団体中央会
	一般社団法人全国清涼飲料連合会
	茅ヶ崎商工会議所
	鎌倉商工会議所
	平塚商工会議所
	公益財団法人神奈川産業振興センター
	江の島 RESORT WEDDING
	オイレスシニアクラブ
	湘南電力株式会社
	タカネ電機株式会社
	横浜振興株式会社
	三浦商工会議所
	横須賀商工会議所
	小田原箱根商工会議所
	亀井工業ホールディングス株式会社
	合同会社サステイン
	平塚信用金庫
個人	23 人

会員会費や当財団への寄付金は、公益財団法人への寄付として税制優遇措置を受けることができます。

〔特別法人・団体会員〕

有限会社サニー 株式会社出羽商会 株式会社湘南なぎさパーク 株式会社美装 協和通商株式会社 横浜エフエム放送株式会社 湘南モールフィルテナント会 株式会社神中運輸 日本たばこ産業株式会社 神奈川支社 小田急電鉄株式会社 京浜急行電鉄株式会社 株式会社フジカッター 株式会社ジェイコム湘南・神奈川 リーバイ・ストラウス ジャパン株式会社 医療法人社団青海会 しんゆり青木整形外科 株式会社ガイア 株式会社アダストリア レモンガス株式会社 株式会社カネタ 三美興産株式会社 有限会社がんこ本舗 株式会社リビエラリゾート 株式会社コーエン スポーツクラブNAS株式会社 相鉄ホールディングス株式会社 ウォータースタンド株式会社 株式会社服部商店 株式会社鈴廣蒲鉾本店 ハワイアン・エアラインズ・インク 馬淵建設株式会社 川本工業株式会社 株式会社グリーンルーム 株式会社社会社フジサワ名店ビル テラスモール湘南 テナント会 上野トランステック株式会社 生活協同組合 パルシステム神奈川ゆめコープ 株式会社パスポート 株式会社共栄商社 株式会社ファンケル 東日本旅客鉄道株式会社 横浜支社 吉川化成株式会社（順不同）

〔法人・団体会員〕

辻堂ゴミゼロクラブ 特定非営利活動法人日本渚の美術協会 ダイダン株式会社横浜支店 かながわ信用金庫ボランティアサークル「ふれあい」 TSSA(ザ・サーフサーフィングアソシエーション) 西湖地域連合 公益社団法人茅ヶ崎青年会議所 神奈川県フライングディスク協会 一般社団法人神奈川県ビルメンテナンス協会 青年部会 FUJISAWA BEACH CLEANING PROJECT 連合神奈川 湘南地域連合 公益社団法人平塚青年会議所 一般社団法人神奈川県バス協会 神奈川県農業協同組合中央会 公益財団法人神奈川県都市整備技術センター ミキモト労働組合 公益財団法人相模湾水産振興事業団 鉱山工業株式会社 岩漁業協同組合 神奈川トヨタ自動車株式会社 茅ヶ崎地区相模川をきれいにする協議会 海岸清掃団体湘南ウキブイ 一般財団法人漁港漁場漁村総合研究所 住友生命保険相互会社 株式会社さんこうどう 株式会社リコー 神奈川県内広域水道企業団 社会福祉法人 伸こう福祉会 株式会社グリーンアップル 株式会社ストリームグラフ アビームコンサルティング株式会社 JAMBO International Center 公益財団法人藤沢市みらい創造財団 有限会社椿建設 一般財団法人横須賀西部水産振興事業団 公益社団法人大磯町観光協会 建設廃棄物協同組合 一般社団法人横須賀市観光協会 公益社団法人藤沢市観光協会 株式会社ニューフレアテクノロジー 公益財団法人神奈川県公園協会 一般社団法人神奈川県建設業協会 一般社団法人茅ヶ崎市観光協会 一般社団法人平塚市観光協会 株式会社ヤチヨ 江ノ島電鉄株式会社 株式会社長生運送 Boon Buddies 医療法人社団ビクトリア会 小野歯科医院 虹の雫 SACHI ∞YOGA Time&Space 東海大学 中日本エクストール横浜株式会社 茅ヶ崎営業所 735style マスワークス合同会社 株式会社幸運社 株式会社汐文社 株式会社フレッシュハウス 株式会社鈴木組 日本メドトロニック株式会社 藤沢商工会議所 地球を守ろう！ 神奈川県中小企業団体中央会 一般社団法人全国清涼飲料連合会 茅ヶ崎商工会議所 鎌倉商工会議所 平塚商工会議所 公益財団法人神奈川産業振興センター 江の島 Resort Wedding オイレシニアクラブ 湘南電力株式会社 タカネ電機株式会社 横浜振興株式会社 三浦商工会議所 横須賀商工会議所 小田原箱根商工会議所 亀井工業ホールディングス株式会社 合同会社サステイン 平塚信用金庫（順不同）

〔出捐団体〕

神奈川県 横須賀市 平塚市 鎌倉市 藤沢市 小田原市 茅ヶ崎市 逗子市 三浦市 葉山町 大磯町 二宮町 真鶴町 湯河原町 株式会社旭広告社 アルソア本社株式会社 大塚製薬株式会社 小田急電鉄株式会社 株式会社神奈川新聞社 キリンビール株式会社 京浜急行電鉄株式会社 相模鉄道株式会社 サッポロビール株式会社 JXTGエネルギー株式会社 株式会社商船三井 スルガ銀行株式会社 株式会社そごう・西武損害保険ジャパン日本興亜株式会社 宝酒造株式会社 東京海上日動火災保険株式会社 東京ガス株式会社 東京電力ホールディングス株式会社 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 三菱UFJニコス株式会社 日本たばこ産業株式会社 東日本電信電話株式会社 神奈川支店 株式会社美装 AIG損害保険株式会社 日本コカ・コーラ株式会社 株式会社みずほ銀行 三井住友海上火災保険株式会社 株式会社横浜銀行 神奈川県農業協同組合中央会 生活協同組合ユーコープ 逗子仏教会 全国労働者共済生活協同組合連合会（順不同）

Solean volume 28*

令和2年6月発行 企画・発行 公益財団法人かながわ海岸美化財団
〒253-0033 茅ヶ崎市汐見台1-7 Tel 0467-87-5379 Fax 0467-87-5340
URL <http://www.bikazaidan.or.jp/> FB <https://www.facebook.com/bikazaidan>

印刷 株式会社さんこうどう
E-Mail info@bikazaidan.or.jp

supported by 〔特別法人・団体会員〕（順不同）

